T-0607090

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用　**エバーエコウッド トレリスフェンス**

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工の前に

警告

●この商品は境界を明示したり、隣地から視界をさえぎる目的で設置するものです。転落、横断防止を目的とした防護柵や、歩行、動作を補助する手摺りなどの目的には使用しないでください。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●説明書に表示している基礎寸法は参考値です。基礎は、現場地盤の状態や商品の用途に応じた構造強度で設計し、安全を確保して施工してください。
●組み立て、施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注意

●柱の埋め込み深さは、商品の高さや大きさに応じて十分確保してください。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず本説明書をお読みいただき、本説明書の内容に従ってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず本説明書は施主様にお渡しして、取り扱いの注意について説明してください。
●高台、強風地域、がけの上、屋上、風の通り道など、風の影響を受けやすい場所への施工は避けてください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、住居や敷地内に侵入が容易になるような場所への設置はしないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると変形、劣化、変色の恐れがありますのでご注意ください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所に設置しないでください。
●出入り口や通路など、通行の妨げになるような場所へは設置しないでください。
●建物や車庫の屋根などからの雪の落下を受けない場所に設置してください。
●振動、衝撃のある場所へは、設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。

組立・施工上のご注意

注 意

●風の強い場所での設置は避けてください。予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●適切な作業服および保護具（保護帽、安全帯、その他作業者身体の保護具）を正しく使用してください。
●工具、器具、保護具などの安全機能を十分確認し不具合のあるものは使用しないでください。
●必ず本説明書に従って、施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは必ず当社指定純正品を使用し、規定本数を守って確実に締め付け、固定してください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●組み立て、施工中は、商品にキズがつかないように十分に注意してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。

基礎工事について

注 意

●基礎の位置や大きさが、給排水管や電気配線管などの地下埋設物に影響を与えないか確認してから施工してください。
●凍上する可能性のある寒冷地で施工を行う場合は、必ず凍上線の下まで基礎位置を確保してください。
●説明書に表示している基礎寸法は参考値です。基礎は、現場地盤の状態や商品の用途に応じた構造強度で設計し、安全を確保して施工してください。
●組み立て、施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。

使用上のご注意

注 意

●農薬、殺虫剤、接着剤、有機溶剤などの化学薬品が付着しないようにしてください。商品が変形したり、変色したりする場合があります。
●表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、十分に注意して取り扱ってください。
●設置現場環境や経年変化によって、商品表面の変色や色あせが生じる場合があります。
●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店に連絡してください。
●高温になる場所では熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くでは絶対に火気を使用しないでください。
●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトやビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。自分でできない場合は、施工店に依頼し必ず直してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●商品に無理な荷重をかけないでください。重い物をのせたり、体重をかけたり、商品の上で飛んだり、跳ねたり、蹴ったり、ボールを投げつけたりしないでください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないようにご注意ください。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
●商品が破損したり、グラグラした場合は、すぐに施工店に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●積雪地域では、商品の破損に繋がる前に早期に除雪してください。

特性と取り扱いのご注意

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

エバーエコウッドの特性

◆色について

・ エバーエコウッドは多少の色のばらつきがあります。

・ 質感の表現上、表面をサンディングしていますので、芝のように順目、逆目が存在し、見る角度によって色合いが違って見えることがあります。

・ 表面をサンディング加工した際や、使用中における表面のこすれ等により発生した粉が衣類等に付くことがありますので、洗濯物や布団などが直接ふれないようにしてください。

・ エバーエコウッドは使用環境の状況により、若干色が出ることがあります。その場合、壁面や床面等を汚す場合がありますので、ご了承ください。なお、この現象は顔料等が染み出してきたものではありません。

◆色あせについて

・ エバーエコウッドは原料に廃木材を木粉にして使用しています。そのため木粉が紫外線や雨により少しずつ白っぽく退色していきますが、これは表面の変化のため強度には支障を来たす影響はありません。また、サンディングすることで元の色合いに戻ります。色の変化は使用環境によって異なります。

◆汚れについて

・ 汚れが付着した時は、頑固な汚れになる前に清掃等を行ってください。汚れは使用環境に大きく影響されます。

◆素材の熱伸縮について

・ エバーエコウッドは木とプラスチック両方の特性を持ち合わせており、そのため温度や湿度等の自然条件により伸縮や反りが生じることがあります。また、施工上および使用上、問題のない範囲で反りや曲がりのある商品が納入される場合があります。あらかじめご了承ください。

◆燃焼について

・ 周辺での火気の取り扱いには十分にご注意ください。

◆商品の取り扱いについて

・ 強い衝撃を与えるような飛び乗りや飛び降りをしたり、ぶら下がったりよじ登ったりしないでください。ケガをしたり、商品が破損する恐れがあります。

◆表面温度について

・ 日中、日差しが強い時は、直射日光によりエバーエコウッドの表面温度は上昇します。ヤケドをする恐れがありますので、ご注意ください。

保　管

保管について

・ 立て掛けず平置きしてください。変形する恐れがあります。

・ 一時保管する場合は、直接雨が当たらないように養生シート等でカバーしてください。

・ ハンマー等、硬いものを落としたりしないでください。割れ欠けの原因になります。

・ 木口を硬い地面等に置く場合は衝撃に注意してください。破損の原因になります。

設　計

◆伸びに対する事項（目地、固定穴）

・ 熱と吸水により伸縮することがあります。

・ 建物など構造物へ突き付ける場合には、10mm以上間隔をあけてください。繋げて取り付けると、熱膨張などにより、部材が変形する恐れがあります。

◆固定方法

・ 建物など他の構造物に密着させないでください。

・ いかなる場合でも壁や床に直接板材を取り付けることは避けてください。接地面が絶えず濡れた状況になったり、線膨張率の違い等で部材が変形する恐れがあります。

◆張り出し長

・ できるだけ、張り出し量を少なくしてご使用ください。

加　工

◆加工方法

・ 切断、穴あけ、面取り、切削等は、従来の木材と変わらない工具で加工できます。

・ 切り屑は樹脂を含むため、土に戻りませんので掃き集めて自治体の条例に従って処理してください。

・ 断面を長手方向に切断しますと変形することがあります。できるだけ避けてください。

・ 釘は使用できません。

施　工

◆ビス留め

・ ビス留めする場合は、あらかじめ下穴をあけて施工してください。

・ ビスはステンレス製をお使いください。

・ 電動ドライバーを使用する場合は、トルクを弱い力に設定してください。

・ 締めすぎて空回りした場合は、ビス径が1サイズ大きいものを使用して、締め直してください。

・ 叩く時は、当て木をするか、ゴムハンマー等を使用してください。

◆柱埋め込み方法（緩衝シートの使用）

・ 柱などに使用しコンクリートに埋め込む場合、素材の膨張によりコンクリートを破壊する恐れがありますので、埋込部分に緩衝シート（樹脂発泡シート）を巻くなどして、直接コンクリートに触れないようにしてください。

◆空気穴、水抜穴について

・ 中空の材料については、端部をキャップなどにより密封すると、熱により空気が膨張し、結露水や侵入水が溜まりますので、空気穴（水抜穴）φ5～8mmを設けてください。必ず部材断面各部屋の水が抜ける方向から穴をあけてください。

・ 水抜穴は必ず下面に向けてください。誤って上に向けると水が入り込み膨張や変形の原因となりますのでご注意ください。

◆塗装

・ ナチュラル色に塗装する場合は、専用ペイント以外は使用しないでください。

・ 専用ペイントを付けた布で表面をすり込むように塗布するだけで美しく仕上げることができます。

・ ミディアムブラウン色の塗料はナチュラル専用です。ダークブラウンには使用しないでください。

お手入れ方法・塗装に関して

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

人工木材（エバーエコウッド）のお手入れ

エバーエコウッドは天然木特有の優しい風合いを持ち、人工木材本来の性能、メンテナンスの容易さを実感していただける商品です。
日々の簡単なお手入れだけで、永く皆様にご愛顧いただけます。

◆汚れの程度と掃除方法

エバーエコウッド表面に付着した汚れや染みは、早めに洗浄してください。
長時間放置しておきますと、汚れが染み状に残ったり黒い斑点の原因となりますので、水洗いをしてふき取ってください。
定期的な水洗いと、からぶきだけでも効果的です。特にホワイトは汚れが目立ちやすいので、こまめなお手入れをおすすめします。
お手入れ方法は以下を参考に定期的に行ってください。

内　容	用　具	方　法
汚れが軽い場合	柔らかい布、スポンジ	材料の長手方向に沿って、やわらかい布やスポンジで水ぶきした後にからぶきしてください。
波紋状の染み等 汚れがひどい場合	中性洗剤、デッキブラシ （ナイロン等の毛足の柔らかいもの）	水で薄めた中性洗剤でデッキブラシ等を使い、長手方向に沿って、やさしくこすってください。 水道水で洗剤が残らないようよく洗い流します。
なかなか除去できない 頑固な汚れ、 黒い斑点を落とす場合	漂白剤、柔らかい布	漂白をする際は事前に汚れの箇所を水洗いし、濡らした後、漂白剤を所定の割合まで水で薄め、やわらかい布等で汚れた箇所を部材の長手方向にこするようにふいてください。最後に漂白剤を水できれいに洗い流した後、からぶきしてください。その際、漂白剤の取り扱いには十分注意してください。まれに色が多少薄くなる事がありますが、経年変化により色合いはなじみます。
キズや焦げ跡が ついた場合	サンドペーパー （60番前後のもの） 当て木、柔らかい布等	表面の汚れを柔らかい布等で拭き取ります。サンドペーパーで傷付いた箇所と周囲の部分を、長手方向に沿ってやさしくこすります。研磨は局部的に強くこすらずに、全体をぼかすように数回こするときれいに補修できます。表面をやわらかい布等で水ぶきし、削り粉を清掃してください。こすり方により、表面状態が他の部分と若干異なることがあります。

◆人工木材（エバーエコウッド）製品のお手入れのご注意

・お手入れには布やスポンジなどのやわらかいものを使用してください。
・金属製のブラシ、ヘラ、スチールウール等は使用しないでください。
・小石や砂等が付着したまま表面をこするとキズがつきます。あらかじめ取除いてください。
・アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
・大気中のホコリやガス、雨などが床表面に付着し、そのまま放置すると紫外線などの影響を受け、雨染みや汚れとなる場合があります。
・主成分が天然木ですので、木特有の防腐成分（タンニンなど）が雨により表層に溶け出し、表面に波紋状の染みが生じる場合があります。
・ミディアムブラウン色の商品や、お客様にてミディアムブラウンに塗装された商品に対してキズの補修をされた場合、塗装が落ちることがあります。その際は、改めてミディアムブラウンの専用ペイントで仕上げることをおすすめします。
・汚れのひどい工業地帯や海岸近くでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
・定期的なお手入れにより、人工木材製品をいつまでも美しく保つことができます。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認

■トレリスフェンス本体梱包明細

◆ラティス

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	ラティス用本体	－	1 枚
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.5×20	10 本

◆スクエア

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	スクエア用本体	－	1 枚
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.8×45	10 本

◆プライバシーラティス

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	プライバシーラティス用本体	－	1 枚
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.5×20	10 本

◆プライバシースクエア

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	プライバシースクエア用本体	－	1 枚
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.8×45	10 本

◆縦格子

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	縦格子用本体	－	1 枚
部　品	L金具	－	6 個
部　品	シンワッシャービス	φ4×25	6 本
部　品	皿木ビス	φ4×16	12 本

◆板　塀

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	板塀用本体	－	1 枚
部　品	L金具	－	6 個
部　品	シンワッシャービス	φ4×25	6 本
部　品	皿木ビス	φ4×16	12 本

■別売部品梱包明細

◆ラティス・スクエア専用柱

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	センター柱（金具付）	－	1 本
部　材	エンド柱（金具付）	－	1 本
部　材	コーナー柱（金具付）	－	1 本

◆スリットフェンス75×75

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	スリットフェンス	－	1 本

◆端部材セット　ラティス/プライバシーラティス用

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.5×20	10 本

◆端部材セット　スクエア用

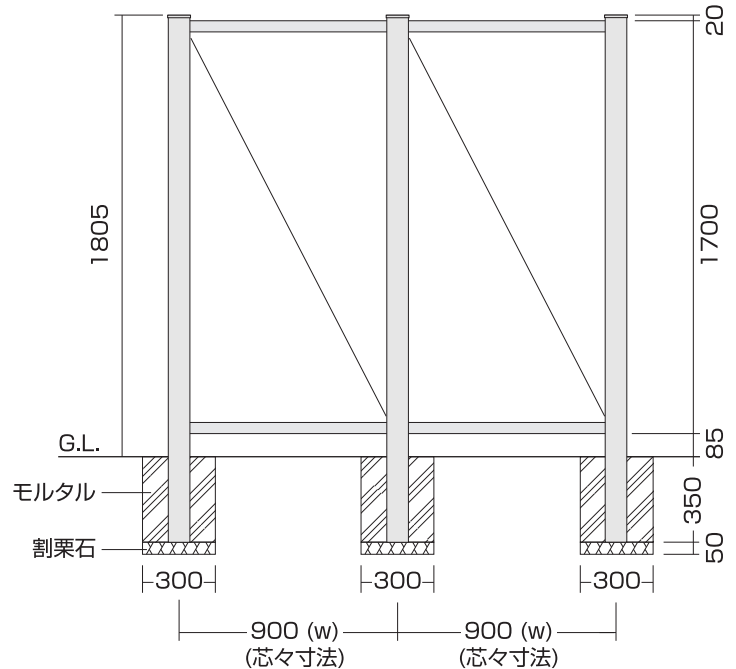
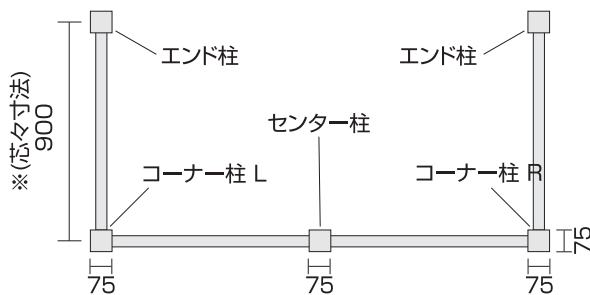
部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.8×45	10 本

◆端部材セット　プライバシースクエア用

部材・部品	品　名	サイズ	個　数
部　材	タテ枠	－	2 本
部　品	Aトラスビス	φ3.5×10	8 本
部　品	皿木ビス	φ3.8×45	10 本

基本寸法

■トレリスフェンス本体の取り付け

図はエバーエコウッド トレリスフェンスを4スパン
使用し、コ型に施工した例です。

トレリスフェンス施工寸法図

施工方法

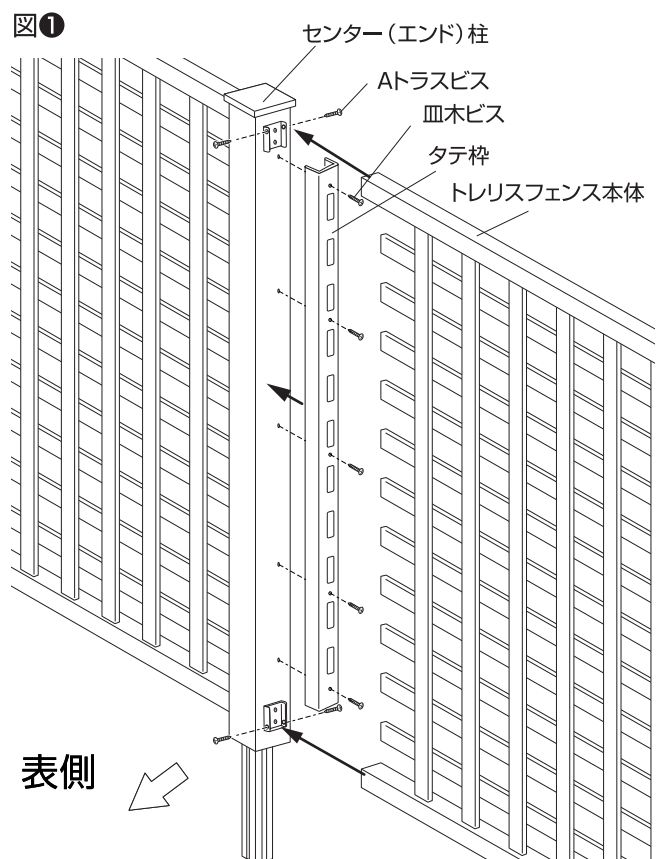
■トレリスフェンス本体の取り付け

トレリスフェンス本体を柱へ取り付ける前に必ず、各々の柱の位置決めを行ってください。トレリスフェンス本体を切り詰める必要がある場合には、8ページの切詰方法に従って切り詰めてから、各柱への取り付けを行ってください。

■センター・エンド柱への取り付け

ラティス、プライバシーラティス、スクエア、プライバシースクエアの場合

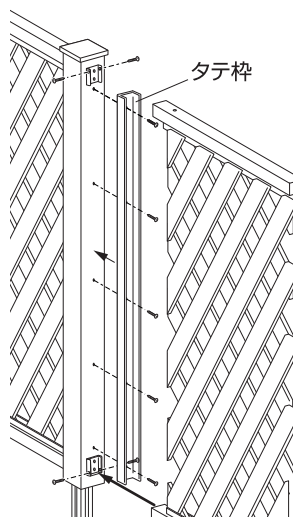
右図のように、柱側面にあらかじめ下穴をあけてから、タテ枠をネジ留めします。
上下の金具部にフェンス本体の上下枠部を差し込み、左右1カ所ずつAトラスビスで留めてください。(図❶)

※スクエア、プライバシースクエアは縦桟が表側になります。
※柱はエバーエコウッドラティス・スクエア専用柱をご使用ください。

※柱取付参考例 スクエア、プライバシースクエア

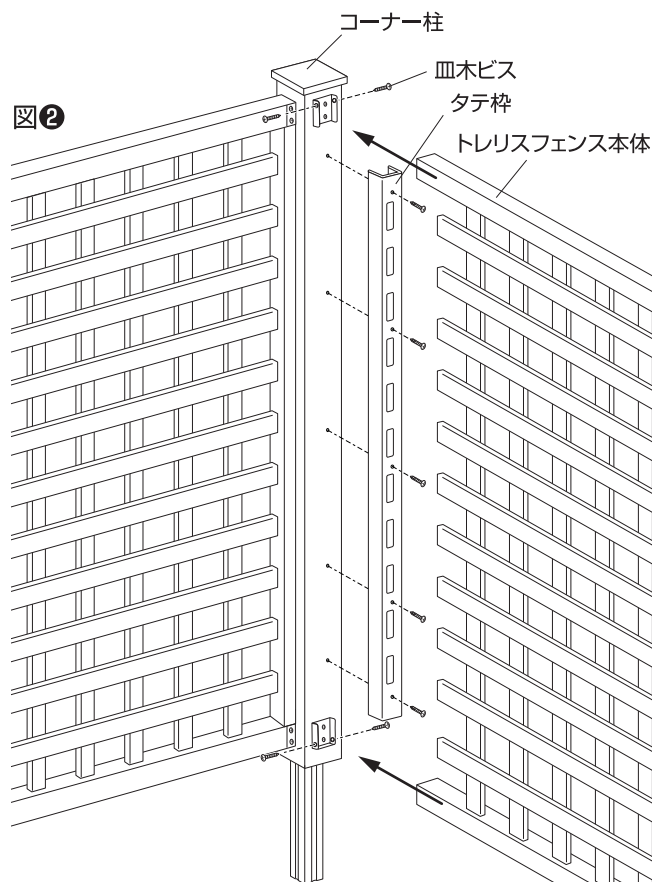
施工方法

ポイント

○取付時、商品にキズがつかない様に十分注意して施工を進めてください。

○スクエア、プライバシースクエアのタテ枠には左右の向きがあるので注意してください。

※柱取付参考例
ラティス、プライバシーラティスの場合

図❷

コーナー柱
皿木ビス
タテ枠
トレリスフェンス本体

※柱取付参考例 スクエア、プライバシースクエア

■コーナー柱への取り付け

ラティス、プライバシーラティス、スクエア、プライバシースクエアの場合

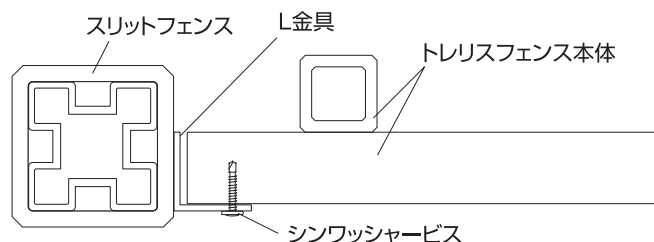
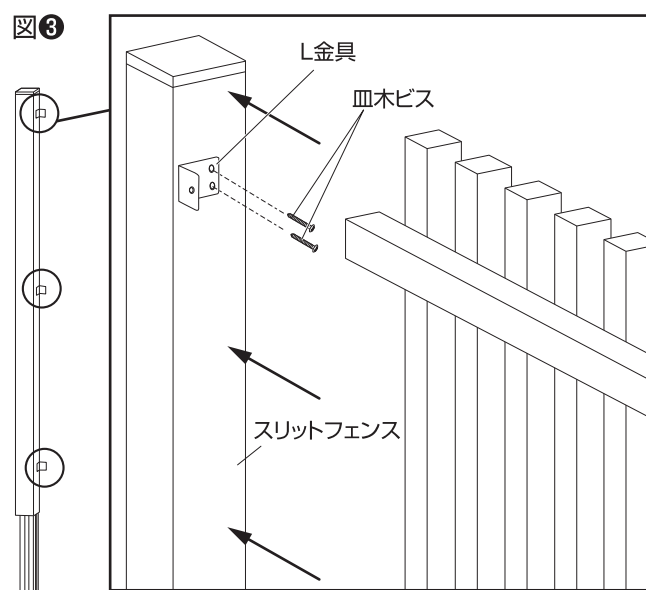
センター柱・エンド柱への取り付けと同様に柱側面にある上下の金具部にトレリスフェンス本体の上下枠部を左右2カ所ずつビス留めしてください。(図❷)

※柱はエバーエコウッドラティス・スクエア専用柱をご使用ください。

■L金具の取り付け

縦格子、板塀の場合

柱側面3カ所にL金具をビス留めしてください。(図❸)
※縦格子、板塀にはトレリス用柱は使用できません。スリットフェンス75×75をご使用ください。

図❸

施工方法

■柱への取り付け

縦格子、板塀の場合

さきほど取り付けたL金具に、トレリスフェンス本体裏面から胴縁をビス留めしてください。(図❹)

※スリットフェンス75×75には、センター、コーナー、エンドといった種類はありません。柱設置位置に応じてL金具を取り付けてください。

図❹

シンワッシャー

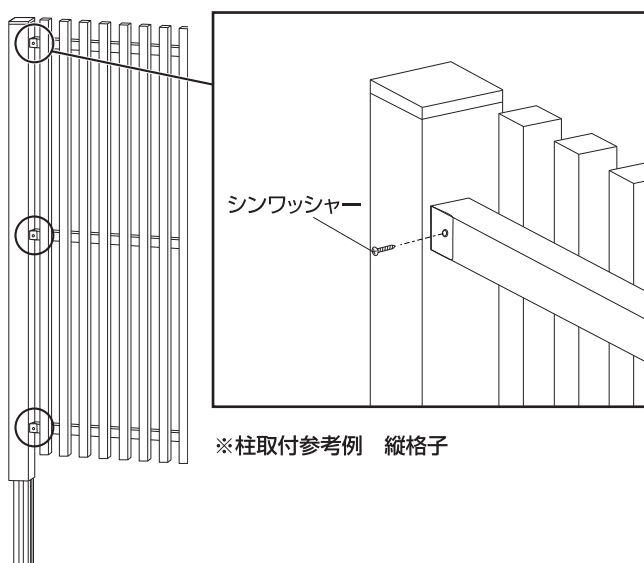
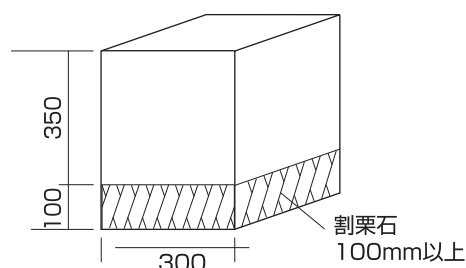
※柱取付参考例　縦格子

■基礎の施工

⚠ ご注意

○基礎の下には必ず割栗石を敷いてください。
○地中には水道管やガス管などさまざまな埋設管があります。施工時は十分にご注意ください。

右図のイラストを参考に穴を掘ってください。(図❺)

図❺

切詰方法

■トレリスフェンスの切詰方法

トレリスフェンス本体から上下枠を外し、共に切り詰めたい長さだけ切断してご使用ください。パネル本体は、上下枠より40mm(左20mm、右20mm)短く切り詰めてください。

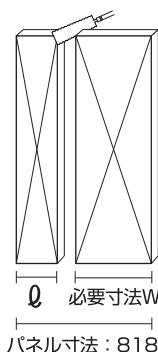
※プライバシースクエア、縦格子、板塀は切り詰めできません。

■端部材セットについて(別売)

切り詰めた本体と残った切り詰め分の両方を使用する場合は、端部材セットをご使用ください。

切り詰めた本体のみを使用する場合は、必要ありません。その他、切り詰めの際に必要に応じて、ご使用ください。

※端部材セットの明細はP.5にも記載しています。

※端部材セットについては別売となります。

ポイント

○左右のバランスを取りながら切り詰めるとより美しく仕上がります。
○切り詰めにはよく切れる目の細かい木材用ノコギリを使用してください。

お客様サービスセンター　通話料無料　0120-51-4128　受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00(祝日は除く)

株式会社タカショー　本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128(代)　FAX. 073-486-2560(代)